

平成26年12月6日(土)

老球の細道88号

## 日本バスケットボール協会公認 E2 級講習会

会津バスケットボール協会理事長 室井 富仁

日本バスケットボール協会は来年からミニバスケットボールの指導者たちに E2 級(初級)の資格取得を義務づけることにした。そのためにコーチの資格がないとベンチで指揮をとれなくなるので、県バスケットボール協会は今まで持っていなかった指導者たちを対象に臨時に講習会を実施することになった。

臨時の講習会は県内4ブロックで行われる。そのうち、県北、相双合同ブロックと会津ブロックの2会場で私が講師を務めることになった。早速11月31日(日)県北、相双合同ブロックの講習会を福島南高校で行って来た。驚いたことに200名くらいの受講者が集まった。今まで私が手掛けた講習会では最大人数である。

今回の E2 級の講習会は講義形式のみであった。講義内容は『指導者の役割』『バスケットボールの歴史』『育成年代の指導法』がテーマだ。4時間もぶっ続けて多くの人の前で話をした経験がなかったので、とても不安であったが、話しているうちにのってしまい、最後は時間不足の欲求不満で終わってしまった。

『指導者の役割』においては、私が50年近く取り組んで「人生をボールに振ってしまった」バスケットボールの素晴らしさを話すことから始めた。「コーチ」の語源から指導者のあるべき真の姿を確認すること。そして、バスケットボールにかける10代の若者とそれを支援する保護者の大切な人生を扱うコーチの仕事の責任の重大さについて力説した。過去にバスケットボールを経験しているからと“昔の名前で出ています♪”のような歌謡曲の世界とは違い、コーチは常に絶え間ない研鑽をしなければならない。

『バスケットボールの歴史』においては、コーチやレフリーにとって無駄な知識かもしれない。しかしバスケットボールを愛するという事はバスケットボールすべてにわたって理解することだと思うので、歴史を知ることが「無用の用」。バスケットボール創造の産みの苦しみを、創案者ジェームスネイスミスの生涯と絡ませながら説明した。

『育成年代の指導法』については、「将来を見据えて」「興味関心を高めながら」「発達に応じて」の3大原則にのっとりながら、現場で役に立つような内容を俺流にまとめて話をした。特に「練習する目的は何か」「なぜ日々練習しなければならない」「練習をがんばるとは」などということプレイヤーに考えさせながら指導することを強調した。またコーチの一番重要な仕事はコートにおけるドリルの指導にある。これで日々正しいファンダメンタルを指導し、その日のスクリメージ(ゲーム的なドリル)の内容をレベルアップしなければならない。だから準備を十分にしておいてコートに立たなければならない。

昨今、ミニバスケットボールの指導においては、指導者、保護者とも「バスケットボールを好きにさせる」「バスケットボールを上手にさせる」「試合で勝たせる」の三つの目標の優先順位で葛藤に陥ったり、考え方の違いでトラブルが起きたりすることがある。今回の講習会では、それらの問題解決と子ども達の将来の成功(自分が願う最高の自分になる)のために、少しでも役に立つヒントを得てもらえれば幸いである。

バスケットボールを楽しませながら正しいファンダメンタルを指導し、子ども達に「バスケットボールで人生の多くを学んだ」と言わしめる指導者がたくさん育ちますように。